



CHAPTER 8

VPN クライアント コマンドライン インターフェイスの使用

この章では、VPN クライアント コマンドライン インターフェイス (CLI) を使用して、Cisco VPN デバイスに接続し、統計情報レポートを生成して、デバイスから切断する方法について説明します。CLI コマンドを使用するスクリプト ファイルを独自に作成すれば、企業サーバに接続し、レポートを実行して、サーバから切断するなど日常業務を行うことができます。

CLI コマンド

この項では、各コマンドとその構文を示し、コマンドごとにサンプル出力を示しています。作業ごとにまとめています。

VPN クライアント コマンドのリストの表示

すべての VPN クライアント コマンドのリストを表示するには、VPN クライアント ソフトウェアが格納されているディレクトリに移動し、コマンドライン プロンプトで `vpnclient` コマンドを入力します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\VPN Client>vpnclient
Cisco Systems VPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

Usage:
vpnclient connect <profile> [user <username>] [eraseuserpwd | pwd <password>]
                               [nocertpwd] [cliauth]
vpnclient disconnect
vpnclient stat [reset] [traffic] [tunnel] [route] [firewall] [repeat]
vpnclient notify
vpnclient verify [autoinitconfig]
vpnclient suspendfw
vpnclient resumefw
```

87657



(注)

`vpnclient` コマンドにより、プラットフォームで使用できるすべてのコマンドとパラメータのリストが表示されます。すべてのコマンドとパラメータがすべてのプラットフォームで使用できるわけではありません。

接続の開始 : vpnclient connect

接続を開始するには、次のコマンドを入力します。

```
vpnclient connect <profile> [user <username>] [eraseuserpwd | pwd <password>]
[nocertpwd] [cliath] [domain <domainname>]
```

表 8-1 は vpnclient connect コマンドで使用できるコマンド オプションを示し、各オプションが実行する作業を記載して、各オプションの例を示しています。

表 8-1 コマンド ライン オプション

オプション	定義	注意事項と例
<i>profile</i>	以前に設定した接続エントリ (.pcf ファイル) の名前です。必須。	ファイル名にスペースが含まれている場合は、コマンドライン上で二重引用符で囲みます。 例 : vpnclient connect "to VPN"
user	認証のためユーザ名を指定します。pwd オプションを指定すると、認証ダイアログでユーザ名の入力を求めるプロンプトが表示されなくなります。任意。	.pcf ファイルのユーザ名をこの名前に更新します。ただし、指定された名前が有効でない場合は、VPN クライアントは、以降の要求で認証ダイアログを表示します。 例 : vpnclient connect user robron pwd siltango toVPN
eraseuserpwd	クライアント PC に保存されたユーザ パスワードを消去し、それに伴って VPN クライアントは強制的にパスワードを要求します。任意。	バッチ ファイルを使用して接続する場合にパスワードプロンプトが表示されないように、保存したパスワードで接続を設定している可能性があります。eraseuserpwd を使用して、接続時にコンソールからパスワードを入力する必要があります、よりセキュアな状態へ戻ることができます。 例 : vpnclient connect eraseuserpwd toVPN
pwd	認証のためパスワードを指定します。コマンドラインで user オプションを指定すると、認証ダイアログでパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されなくなります。任意。	指定されたパスワードが有効でない場合は、VPN クライアントは、以降の要求で認証ダイアログを表示します。パスワードを暗号化して接続した後、VPN クライアントは .pcf ファイルのパスワードをクリアします。コマンドラインでこのオプションを使用すると、セキュリティが低下するため、推奨しません。 例 : vpnclient connect user robron pwd siltango toVPN
nocertpwd	証明書のパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されなくなります。任意。	例 : vpnclient connect nocertpwd toVPN
cliath (Windows プラットフォームのみ)	コマンドラインで認証情報の入力を求めます。コマンドラインから接続要求中に GUI プロンプトが表示されないようにします。	ユーザ名およびパスワードの VPN クライアント プロンプトです。パスワードはアスタリスクで表示されます。 例 : vpnclient connect cliath toVPN

表 8-1 コマンドライン オプション (続き)

オプション	定義	注意事項と例
stdin	CLI はコンソールではなく、標準入力パイプから入力データを読み取ります。	このオプションを指定すると、サードパーティ ソフトウェアは入力データを直接 CLI に提供できます。 例 : vpnclient connect toVPN stdin
sd	Microsoft ダイアルアップ ネットワークを使用している場合に発生する「Do you wish to disconnect your Dial-Up Networking connection?」というメッセージを表示しないようにします。	バージョン 4.0.3D 以降は、このスイッチはここに記載されたとおりに動作します。 例 : vpnclient connect toVPN sd
domain	接続のドメインを指定します。	Domain キーワードを最後に指定します。Radius ではほとんどの場合、[Domain] フィールドは使用されないため、次の例のように NULL にする必要があります。 vpnclient connect profile-name user name pwd password domain ドメイン名が NULL の場合、GUI によりユーザはドメイン名の入力を求められます。



(注)

CLI の「pwd」オプションを使用する場合、無効なパスワードが実際、セキュア ゲートウェイに 3 回送信されます。このため、失敗したパスワード入力を記録している一部の認証デバイスに問題が発生します。パスワードを 1 回だけ送信し、スクリプトの戻りコードを使用しない **cliauth** コマンドを使用します。

例 8-1 vpnclient connect コマンド

この例は、「engineering」というプロファイル名を使用して Engineering Server に接続する **vpnclient connect** コマンドを示します。

```

C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient connect engineering
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

```

```

Initializing the UPN connection.
Contacting the gateway at 10.10.32.32
Authenticating user.

```

2002/8

この時点で、ユーザ名とパスワードの入力を求める認証ダイアログボックスが表示されます。

図 8-1 ユーザの認証



ユーザ名とパスワードを入力すると、認証が行われ、コマンドは実行を続けます。

```
Negotiating security policies.
Securing communication channel.
Welcome to Wonderland University
You can register on line beginning March 24, 2003
Do you wish to continue? (y/n):
Your VPN connection is secure.
```

87653

例 8-2 cliauth を使用した vpn connect コマンド

あるいは、例 4-1 に示す [User Authentication] ウィンドウを表示しないようにするには、cliauth パラメータを使用できます。コマンドラインで、ユーザ名とパスワードを入力するよう求められます。cliauth パラメータを使用すると、コマンドラインでパスワードをクリア テキストで表示しなくても済みます。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\VPN Client>vpnclient connect engineering cliauth
Cisco Systems VPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

Initializing the VPN connection.
Contacting the gateway at 10.10.32.32
User Authentication for engineering...

Enter Username and Password.

Username [patc]:
Password [ ]: *****
Authenticating user.
Negotiating security policies.
Securing communication channel.
Welcome to Wonderland University
You can register on line beginning March 24, 2003
Do you wish to continue? (y/n):
Your VPN connection is secure.
```

87661

例 8-3 パラメータを使用した vpnclient connect コマンド

次のコマンドでは、ユーザが介入せずにリモート ネットワークに接続します。パスワードがコマンドラインにクリア テキストで表示されている点に注目してください。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient connect engineering user pat
c pwd Mohawk3turn
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNI
Running on: 5.0.2195

Initializing the UPN connection.
Contacting the gateway at 10.10.32.32
Authenticating user.
Negotiating security policies.
Securing communication channel.
Welcome to Wonderland University
You can register on line beginning March 24, 2003
Do you wish to continue? (y/n):
Your UPN connection is secure.
```

87654

通知の表示 : vpnclient notify

接続時、vpnclient notify コマンドを使用して通知を表示できます。

```
vpnclient notify
```

例 8-4 vpnclient notify コマンド

次のセッションは、vpnclient notify コマンドを使用してネットワーク管理者からの通知を表示する方法を示しています。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\Vpn Client\vpnclient notify
Cisco Systems VPN Client Version 4.0
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows
Running on: 5.0.2195

Notification:
Your network administrator has placed an update of the Cisco Systems VPN Client at the
following location:
http://www.mycompany.com/clientupdate
```

自動 VPN 実行の表示 : Windows のみ

自動実行の構成を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
vpnclient verify autoinitconfig
```



(注)

出力表示のマスクがプロファイルの値と一致していない場合は、マスクは無効です。無効なマスクは 255.255.255.255 と表示されます。

例 8-5 vpnclient verify コマンド

次のコマンドは、あるアクセス ポイントの自動実行の構成を示します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient verify autointconfig
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

Auto-initiation Configuration Information.
Enable: 0
Retry Interval: 2 minutes
List Entry 0: Network: 10.10.32.32
Mask: 0.0.0.0
Connect Flag: 1
Connection Entry: "Engineering"
```

87683

ステートフル ファイアウォールの一時停止/再開 (Windows のみ)

ステートフル ファイアウォールを一時停止するには、次のコマンドを入力します。

```
vpnclient suspendfw
```

一時停止されたステートフル ファイアウォールを再開するには、次のコマンドを入力します。

```
vpnclient resumefw
```

例 8-6 ステートフル ファイアウォールの一時停止と再開

次のコマンドは、ステートフル ファイアウォールの設定を制御します。最初のコマンド出力は、コマンド実行時にステートフル ファイアウォールがイネーブルになっていない場合に示される応答を示します。ステートフル ファイアウォールをイネーブルにした後に実行される次の 2 つのコマンドは、まずファイアウォールを一時停止し、再開します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient suspendfw
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

The Stateful Firewall (Always On) service is disabled so it cannot be suspended
or resumed

C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient suspendfw
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

The Stateful Firewall (Always On) service has been suspended

C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient resumefw
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

The Stateful Firewall (Always On) service has been resumed
```

87683



(注)

ステートフル ファイアウォールを一時停止した後に PC をリブートすると、Stateful Firewall 設定は enable に戻り、トラフィックはブロックされます。最初にファイアウォールがイネーブル、または一時停止されていないと、**resumefw** コマンドはファイアウォールをイネーブルにできません。

接続の終了 : **vpnclient disconnect**

セッションから切断するには、次のコマンドを入力します。

```
vpnclient disconnect
```

例 8-7 **vpnclient disconnect** コマンド

次のコマンドは、ユーザをセキュア接続から切断します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient disconnect
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195
```

```
Disconnecting the UPN connection.
Your UPN connection has been terminated.
```

09928

接続に関する情報の表示 : **vpnclient stat**

接続に関するステータス情報を生成するには、次のコマンドを入力します。

```
vpnclient stat [reset] [traffic] [tunnel] [route] [firewall] [repeat]
```

オプションのパラメータを指定せずに入力した場合は、**vpnclient stat** コマンドはすべてのステータス情報を表示します。次のパラメータはオプションです。

オプション	定義	例
reset	すべての接続カウントをゼロから再び開始します。SA stats はリセットされません。	vpnclient stat reset
traffic	着信バイトおよび発信バイト、暗号化されたパケットおよび復号化されたパケット、バイパスされたパケット、および破棄されたパケットの概要を表示します。	vpnclient stat traffic
tunnel	IPsec トンネリング情報を表示します。	vpnclient stat tunnel
route	設定されているルートを表示します。	vpnclient stat routes

firewall	使用しているファイアウォールのタイプを識別し、ファイアウォール設定で生成された情報を表示します。このオプションは Windows プラットフォームでのみ使用できます。	vpnclient stat firewall
repeat	数秒単位でリフレッシュして、連続して表示します。表示を終了するには、<ctrl-C> を押します。 まず、統計情報をリセットするには、 reset オプションと repeat オプションを合わせて使用します (例を参照)。	vpnclient stat traffic repeat vpnclient stat repeat vpnclient stat reset traffic repeat vpnclient stat reset repeat

次の例は、vpnclient stat コマンドのサンプル出力を示します。統計情報の出力の詳細については、『VPN Client User Guide for Windows』を参照してください。

例 8-8 vpnclient stat コマンド

次に、vpnclient stat コマンドにより表示される情報の例を示します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\VPN Client>vpnclient stat
Cisco Systems VPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195
```

```
UPN tunnel information.
Connection Entry: Engineering
Client address: 200.200.100.50
Server address: 10.10.32.32
Encryption: 168-bit 3-DES
Authentication: HMAC-MD5
IP Compression: None
NAT passthrough is inactive
Local LAN Access is disabled
Personal Firewall: Cisco Systems Integrated Client
Firewall Policy: Centralized Protection Policy (CPP)
```

```
UPN traffic summary.
Time connected: 0 day(s), 16:03.25
Bytes in: 60424
Bytes out: 176802
Packets encrypted: 1079
Packets decrypted: 1079
Packets bypassed: 3511
Packets discarded: 17324
```

```
Configured routes.
Secured Network Destination Netmask
0.0.0.0 0.0.0.0
```

```
Firewall Rules.
Act Dir Src Address Dst Address Pro Src Port Dst Port
Fwd In 10.10.32.32/32 10.10.0.32/32 17 500 500
Fwd Out 10.10.0.32/32 10.10.32.32/32 17 500 500
Fwd In 10.10.32.32/32 10.10.0.32/32 50 Any Any
Fwd Out 10.10.0.32/32 10.10.32.32/32 50 Any Any
Fwd In Any 200.200.100.50/32 Any N/A N/A
Fwd Out 200.200.100.50/32 Any Any N/A N/A
Fwd Out Local Any Any N/A N/A
Drp In Any Local Any N/A N/A
Drp Out Local Any Any N/A N/A
```

78603

例 8-9 **vpnclient stat reset コマンド**

vpnclient stat reset コマンドは、すべての接続カウンタをリセットします。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient stat reset
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

Tunnel statistics have been reset.
```

78505

例 8-10 **vpnclient stat traffic コマンド**

次に、vpnclient stat traffic コマンドにより生成される情報のサンプルを示します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient stat traffic
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

UPN traffic summary.
Time connected: 0 day(s), 16:05.28
Bytes in: 60928
Bytes out: 178080
Packets encrypted: 1088
Packets decrypted: 1088
Packets bypassed: 3517
Packets discarded: 17392
```

78507

例 8-11 **vpnclient stat tunnel コマンド**

トンネリング情報のみ表示するには、vpnclient stat tunnel コマンドを使用します。次にサンプルを示します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\UPN Client>vpnclient stat tunnel
Cisco Systems UPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

UPN tunnel information.
Connection Entry: Engineering
Client address: 200.200.100.50
Server address: 10.10.32.32
Encryption: 168-bit 3-DES
Authentication: HMAC-MD5
IP Compression: None
NAT passthrough is inactive
Local LAN Access is disabled
Personal Firewall: Cisco Systems Integrated Client
Firewall Policy: Centralized Protection Policy (CPP)
```

78508

例 8-12 vpnclient stat route コマンド

vpnclient stat route コマンドは、次の表示に似た情報を表示します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\VPN Client>vpnclient stat route
Cisco Systems VPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

Configured routes.
Secured Network Destination Netmask
0.0.0.0 0.0.0.0
```

78506

例 8-13 vpnclient stat firewall コマンド : Windows のみ

vpnclient stat firewall コマンドは、次の表示に似た情報を表示します。

```
C:\Program Files\Cisco Systems\VPN Client>vpnclient stat firewall
Cisco Systems VPN Client Version 4.0 (int_92)
Copyright (C) 1998-2003 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.
Client Type(s): Windows, WinNT
Running on: 5.0.2195

Personal Firewall: Cisco Systems Integrated Client
Firewall Policy: Centralized Protection Policy (CPP)

Firewall Rules.
Act Dir Src Address Dst Address Pro Src Port Dst Port
Fwd In 10.10.32.32/32 10.10.0.32/32 17 500 500
Fwd Out 10.10.0.32/32 10.10.32.32/32 17 500 500
Fwd In 10.10.32.32/32 10.10.0.32/32 50 Any Any
Fwd Out 10.10.0.32/32 10.10.32.32/32 50 Any Any
Fwd In Any 200.200.100.50/32 Any N/A N/A
Fwd Out 200.200.100.50/32 Any Any N/A N/A
Fwd Out Local Any Any N/A N/A
Drp In Any Local Any N/A N/A
Drp Out Local Any Any N/A N/A
```

78504



(注)

VPN クライアント統計カウンットの最大サイズは 4,294,967,296 です。VPN クライアント ソフトウェアでこの制限値になると、統計カウンットはゼロにロールバックし、再度開始します。

戻りコード

この項では、VPN クライアント コマンドライン インターフェイスを使用中に受信する可能性があるエラー レベル (戻りコード) を示します。

戻りコード	メッセージ	意味
200	SUCCESS_START	VPN クライアント接続は正常に開始されました。
201	SUCCESS_STOP	VPN クライアント接続が終了しました。
202	SUCCESS_STAT	VPN クライアントは統計情報を正常に生成しました。
203	SUCCESS_ENUMPPP	enumppp コマンドが正常に実行されました。このコマンドは、ダイヤルアップでインターネットに接続する場合に電話帳のエントリを示します。
1	ERR_UNKNOWN	コマンドラインの解析中に未確認のエラーが発生しました。
2	ERR_MISSING_COMMAND	コマンドラインの入力からコマンドが見つかりません。
3	ERR_BAD_COMMAND	入力したコマンドにエラーがあります。スペルチェックをしてください。
4	ERR_MISSING_PARAMS	コマンドラインの入力に、必須パラメータが見つかりません。
5	ERR_BAD_PARAMS	コマンド入力のパラメータが正しくありません。スペルを確認してください。
6	ERR_TOO_MANY_PARAMS	コマンドラインの入力に含まれているパラメータの数が多すぎます。
7	ERR_NO_PARAMS_NEEDED	入力されたコマンドにパラメータは必要ありません。
8	ERR_ATTACH_FAILED	汎用インターフェイスに接続中にプロセス間通信エラーが発生しました。
9	ERR_DETACH_FAILED	汎用インターフェイスから切断中にプロセス間通信エラーが発生しました。
10	ERR_NO_PROFILE	VPN クライアントはプロファイルを読み込むことができませんでした。
11	ERR_PWD_MISMATCHED	予備
12	ERR_PWD_TOO_LONG	パスワードの文字が多すぎます。グループパスワードの最大文字数は 128 文字です。証明書のパパスワードの最大文字数は 255 文字です。
13	ERR_TOO_MANY_TRIES	有効なパスワードの入力試行が許容値を超えました。制限値は 3 回です。
14	ERR_START_FAILED	接続に失敗しました。接続できません。
15	ERR_STOP_FAILED	切断に失敗しました。切断できません。
16	ERR_STAT_FAILED	接続ステータスの表示に失敗しました。
17	ERR_ENUM_FAILED	電話帳のエントリを表示できません。
18	ERR_COMMUNICATION_FAILED	重大なプロセス間通信が発生しました。

戻りコード	メッセージ	意味
19	ERR_SET_HANDLER_FAILED	コンソール制御ハンドラの設定に失敗しました。
20	ERR_CLEAR_HANDLER_FAILED	ユーザ ブレーク後のクリーンアップに失敗しました。
21	ERR_OUT_OF_MEMORY	メモリ不足。メモリの割り当てに失敗しました。
22	ERR_BAD_INTERFACE	内部表示エラー。
23	ERR_UNEXPECTED_CALLBACK	Connection Manager との通信時に、予期しないコールバック（応答）が発生しました。
24	ERR_DO_NOT_CONTINUE	「continue?」を要求するバナーでユーザが終了しました。
25	ERR_GUI_RUNNING	グラフィカル インターフェイス ダイアログ アプリケーションで接続している場合は、コマンドライン インターフェイスを使用できません。
26	ERR_SET_WORK_DIR_FAILED	作業ディレクトリの設定に失敗しました。これは、プログラム ファイルが格納されているディレクトリです。
27	ERR_NOT_CONNECTED	接続が有効になっていないため、ステータスの表示に失敗しました。
28	ERR_BAD_GROUP_NAME	接続に設定されたグループ名が長すぎます。最大文字数は 128 文字です。
29	ERR_BAD_GROUP_PWD	接続に設定されたグループ パスワードが長すぎます。最大文字数は 128 文字です。
30	ERR_BAD_AUTHTYPE	接続に設定された認証タイプが無効です。
31	RESERVED_01	予備。
32	RESERVED_02	予備。
33	ERR_COMMUNICATION_TIMED_OUT	プロセス間通信がタイムアウトしました。
34	ERR_BAD_3RD_PARTY_DIAL	サードパーティ ダイアログを開始できませんでした。
35	ERR_DAEMON_NOT_RUNNING (CVPND.EXE)-Non-Windows only	実行するコマンドの接続を確立する必要があります。
36	ERR_DAEMON_ALREADY_RUNNING (CVPND.EXE)-Non-Windows only	接続がすでに確立されているため、コマンドが機能できません。

アプリケーション例 : Windows のみ

CLI コマンドを使用して、ブランチ オフィスから企業のオフィスに接続し、アプリケーションを実行して、企業のサイトから切断する DOS バッチ ファイル (.bat) の例を示します。

```
runxls.bat
rem assume you have generated a report in the middle of the night that needs
rem to be sent to the corporate office.

rem .. generate report.xls . .

rem connect to the home office
vpnclient connect myprofile user admin pwd admin

rem check return code from vpnclient call....
if %errorlevel% neq 200 goto failed
rem if okay continue and copy report

copy report.xls \\mycorpserver\directory\overnight_reports /v

rem now disconnect the VPN connection
vpnclient disconnect
echo Spreadsheet uploaded
goto end
:failed
echo failed to connect with error = %errorlevel%
:end
```

■ アプリケーション例 : Windows のみ